

● 8月10日(水) 晴 納沙布岬

○ 今日は天気も回復したので久しぶりに北方領土を見に納沙布岬へ行った。

・朝5時過ぎ起床。気温16℃、寒い！ ヒーターを入れて暖まった。昨夜は台風の影響か冷たい雨が降っていたが、今はあがっている。朝食を摂りながら天気予報を見ると、天気は回復の方向だと云っているが、ここはまだどんよりと曇り気温は16℃と寒い。関東は猛暑だと云っている。

・8時に網走を発ち摩周温泉に向かう。一昨日通って来た道道102号線を今日は南下し藻琴山の裾を走って道の駅「摩周温泉」に着いた。藻琴山は相変わらず濃い霧に包まれていた。摩周温泉は曇っているが時々雲の切れ目から日が差したりする。天気予報によると、この辺りの天気は、鶴居、弟子屈は明日も曇りだというが東の根室方面は天気が良さそうだ。今11時前だ。ナビを見ると納沙布岬まで4時間くらいで行ける。久しぶりで納沙布岬へ行って北方領土の貝殻島を見てこようか。そう決めて11時過ぎに摩周温泉を出て根室方面をめざした。

・国道243号線を快調に走り、東へ行くに従って天気が良くなり根室近くでは快晴になった。気温も22℃まで上がってきた。別海町を通過して国道44号線に入り風蓮湖畔の道の駅「スワン44」で休憩。昔泊まったことのある懐かしい駅だ。



・さらに東へ車を走らせ根室市を通過して納沙布岬へ急ぐ。根室市はあっという間に通過してしまった、やはり小さな街なんだなと思った。天気は良いし道も良いし、快調に走って納沙布岬に2時半に着いた。予定の時間より1時間近くも早く着いた。



・以前来た時と若干様変わりしていて、オーロラタワーという塔が建っているし、何やらモニュメントみたいなものも建っている。でも懐かしいな。



・納沙布岬はやはりすごい。
ロシア領の貝殻島が目と鼻の先に見える。北方領土の意味をあらためて我々に訴えている。一度は訪れてみなければならない所だ。



・ロシア領・貝殻島を目の前に見ながら「花咲ガニのてっぽう汁」を味わった。以前来た時に食べてその味が忘れられず、このてっぽう汁を食うためにわざわざ来たようなものだ。美味しい！



・今夜は厚岸に泊まろうと思いナビで調べたら6時過ぎには着けそう。厚岸のレストラン・コンキリエは7時までやっているから、夕食にもありつける。納沙布岬を3時過ぎに出発し国道44号線を西に向けて走る。私が時速70kmの定速走行で走ったら、前に車がいなくなり、後の車は私を抜かずにおとなしくついてくる。その後続く車も前の車を抜けないのか、おとなしくついてくるので、結局私の車が先頭でその後に5台の車を従えた車列を保ったまま時速70kmの定速で1時間以上走った。5時過ぎに厚岸に到着するまで。実に気持ちが良いドライブだった。



・予定より1時間以上早く厚岸に着いたので、まだ日も高くゆっくりできた。6時過ぎにレストラン・コンキリエで夕食。夕陽に輝く厚岸湾を眼下に見ながら、生ビールに厚岸カキステーキ丼をいただいた。カキの生、フライ、ステーキとカキづくしの贅沢な丼に大満足で満腹。



・今日は320kmも走った。ずいぶん走ったな！ 少々疲れた。
・ビールがまわってきて良い気分になり横になり熟睡した。

● 8月11日(木) 晴 霧多布湿原・釧路湿原

○ 天気も回復、安定してきたので、雄阿寒岳に登るため釧路湿原を通して摩周温泉に移動。

・4時30分起床。昨夜のグルメに満足して良く寝た。天気は快晴で気温15℃、ちょっと肌寒い。天気が回復してきたので明日は雄阿寒岳に登る予定にし、今日は摩周温泉で泊まることにした。ここ厚岸から摩周温泉はすぐ近くだからのんびりの移動だ。ゆっくりと朝食をとってから8時に厚岸を出た。まず霧多布へ向かった。文字通り霧の多い所で、今まで何回か来ているが、いつも霧が一面に覆っている記憶しかない。今日は快晴だ。散策が楽しんだ。

・途中に「涙岬・立岩」と云う景勝地の案内が目に入ったので寄ってみた。まず駐車場から草原を5分ほど歩いて涙岬へ。



・涙岬の展望台まで立派な歩道と木道が出来ている。涙岬はどこにでもある海の岸壁でということもないが、天気の良いし草原に沢山の花が咲いて気持ち良い。



・駐車場近くまで戻って今度は立岩へ歩いた。こっちはあまり歩く人もないらしく、草原の中の踏みわけ道しかない。朝露がいっぱいなので足がびしょ濡れになったが、花がいっぱいで面白かった。



・エゾフウロ、エソカワラナデシコ、エソノコギリソウ、チャボヤマハギ等々沢山の花がきれいだった。



エゾフウロ



エソノコギリソウ



チャボヤマハギ

・いつ来ても霧で全く視界が無かった「琵琶瀬展望台」だが、今日は天気が良く晴れて海側も湿原側も良く見渡せた。





琵琶瀬木道

・ 湿原の散策で琵琶瀬木道を歩いた。8月も今頃になると湿原の花も終わりに近く、ミゾハギ、サウギキョウ、クサフジ、クサレダマ、タチギボウシとノリウツギくらいしか見られなかったが、広々とした霧多布湿原を満喫した。



ミゾハギ (左)、クサフジ (右) ⇒

・ 次は釧路湿原へ行こうと霧多布岬へは寄らず、霧多布湿原センターの前を通過して茶内に出て道道 14 号線を北上して標茶へ出た。そこから国道 391 号線を南下し、美しい湖とカヌーの教室の印象が深い塘路湖へ行った。相変わらず美しい湖で、カヌー教室もやっていたが、ちょうど教室が始まったばかりで、カヌーはまだ湖に浮かべていなかった。湖を眺めながら木陰でのんびりと昼食をとった。



・ 1 時過ぎ、塘路湖を後にして釧路湿原を横断し鶴居へ向かう途中で湿原を見下ろすことができる「クッタロ展望台」に寄った。展望台と云うだけあって結構登らされたが、湿原を一望で来てすばらしい。ふとすぐ下を見ると水辺に白いものが動いている。良く見ると丹頂鶴が 2 羽見える。かなり遠いので良く確認できないが、番だろうか。時々草の中に隠れて見えなくなるが巣でもあるのだろう。楽しい観察をさせてもらった。



・ 鶴居では久しぶりで天津つり公園を訪れて天津さんにお会いした。夏休みの最盛期で商売繁盛、大忙しで手が離せない。顔を合わせて挨拶しただけで鶴居を後にした。これで天津さんとお会いできるのも最後になるかな。ちょっと寂しい感じを抱きながら国道 53 号線を北上して、今日の宿泊予定地の道の駅「摩周温泉」に向かった。焼けつくような日差しの中、ほとんど車が走っていない国道を快適にのんびりと走行した。ときどきものすごい勢いで抜いてゆく車がある。あれじゃ大事故が起きてても無理は無いな、と思いながらマイペースで走り 3 時過ぎに摩周温泉に到着した。太陽が暑いし、客が多くてめちゃくちゃ混雑している。とてもじっとしてられない。

・ 案内所で教えてもらい、すぐそばのペンション「ピオラ」で入浴してから道の駅に戻って駐車場を確保。客も少しは減ってきたようだ。5 時には夕食。外はまだ昼間のように明るいけど 6 時過ぎに就寝。

明日は雄阿寒岳に登るので早出だ。天気も良さそうだ。